

資料室



[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働組合をつくろう \(実践編⑩\)](#) | [従来型組織化からの脱皮を](#)

[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

労働組合をつくろう (実践編⑩) 従来型組織化からの脱皮を

従来型組織化の特徴

1. 専門家（個人依存）型組織化
2. ネガティブ型組織化（非合法的）
3. 恩恵・敵対型組織化

21世紀の組織化の特徴

- 組織（集团的）型組織化
- ポジティブ型組織化（合法的権利行使）型
- 協力・創造・パートナー型組織化

したがって、組織化を行う順序も基本的には、会社（経営）の理解を得ることを主眼として最大のエネルギーをここに注ぎます。

アプローチの手順

1. 会社（経営）へアプローチ（理解を得る）
2. 当事者労働者の自主的・主体的メンバーによる「結成準備会」の発足。
3. 対象労働者への組合加入活動はオープンに実施。
4. 但し、妨害者（団体）による組織介入には徹底した対策を講じる。
5. 結成大会後速やかに会社と「労働協約」を締結する。

以上の手順を基本に組織化を進めます。

経営に対するアプローチ

アプローチ方法

1. 組織化に対する方針について「挨拶」を行なう（全体へ）
 - ①中央「経営者団体」へのアプローチ → 連合本部から申し入れ
 - ②各地方「経営者団体」 → 地方連合から申し入れ
 - ③その他。
2. 各産別団体から業界への挨拶と懇談を行う。
 - ①労使会議において理解を深める。
 - ②系列未組織企業へ組織化を働きかける。
 - ③その他。
3. 各単組による親企業へのアプローチ
 - ①労使協議会・懇談会などで理解を深める。
 - ②グループ企業を交えての懇談会などの実施。
 - ③その他
4. 選定企業（会社）へのアプローチ
 - ①正式に会社訪問し、意向を伝える。
 - ②選定企業への訪問を徹底する
 - ・選定企業の意味決定に影響を与える人・組織からの口添え。
 - ③親企業による側面支援で促進を図る。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[🔍 サイトマップ](#) [🔍 このサイトについて](#) [🔍 個人情報保護の取組みについて](#)

[🔍 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.